

## サウンドバー

### 使用上のご注意／仕様・保証書



https://rd1.sony.net/help/ht/2088/h\_zz/

©2025 Sony Corporation  
Printed in Vietnam



### BRAVIA Theatre Bar 6

この使用上のご注意／仕様には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。使用上のご注意／仕様およびヘルプガイドをよく読みのう、製品を安全にお使いください。

警告

安全のために

↓

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。製品全般的の注意事項が記載されています。「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほりかたまっているかないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本機や電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ①電源を切る

②電源プラグをコンセントから抜く

③ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に相談する

警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

フラグをコンセントから抜く

警告

火災 感電

下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

**内部に水や異物を入れない**  
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない  
火災や感電の危険をさせるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。  
本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火気源を置かないでください。  
→ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

**風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない**  
布をかけた上、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本機を本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密着して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨けになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

**電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する**  
本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。電源コンセントに手が届かない場合は、本機のAC入力端子から電源コードを抜いてください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離しません。

**湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない**  
上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

**本機を開けたり、分解や改造をしない**  
火災や感電、けがの原因となることがあります。  
→ 内部の点検や修理は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

**雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない**  
感電の原因となります。

**本機を日本国外で使わない**  
交流100 Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

**電源コードを傷つけない**  
電源コードを傷つくと、火災や感電の原因となります。  
● 設置時、本機と壁や棚との間にほりかたまりしない。  
● 電源コードを圧迫しない、引っ張らない、垂れ下がるようにしない。  
● 重いものをのせたり、引っかいたりしない。  
● 熱器具に近づけない、加熱しない。  
● 移動させるときは、電源コードを抜く。  
● 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
→ 万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。

注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

**大音量で長時間つづけて聞かない**  
耳を刺激するよう大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。  
→ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞くことをおすすめします。

**安定した場所に置く**  
ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

**コード類は正しく配置する**  
電源コードや接続ケーブルは足に引っかかったときと本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

**移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く**  
長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

**お手入れの際、電源プラグを抜く**  
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

**設置上のご注意**  
本機の角でけがをしないようにお気をつけください。

**可燃ガスやエアゾールやスプレーを使用しない**  
清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

**病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない**  
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**本製品を使用中に他の機器に電圧降下などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない**  
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**医療機器に近づけない**  
本製品は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水通症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用に担当医師にご相談ください。

**サウンドバーについて**  
機絶板は底面に貼ってあります。

電池についてのご安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液が漏れたら、すぐに水で洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

必ず次の処理をする

→ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

→ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

→ 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない、火のそばや直射日光のあたるところなど高温の場所で使用・保管・放置しない

過熱したり、液が漏れたりして、けがやけがなどの原因となることがあります。

電池が液漏れしたり、異常がする時はただちに火気より遠ざけてください。

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがやけがの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をし、液が漏れたりして、けがやけがの原因となることがあります。

→ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長期間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておく、過放電により液が漏れ、けがやけがの原因となることがあります。

過熱操作について

スマートフォンによる以下の過熱操作は、本体が見える位置からのみ操作を行ってください。

- 再生/停止/一時停止
- 曲送り/曲戻し
- 音量の調整
- 消音
- リピート/シャッフル

温度上昇について

使用中に本体の温度が上昇することがあります。故障ではありません。

無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工業の製造ライン等で使用されている移動体通信用の場内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する際に、近くで移動体通信用の場内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていなくことを確認してください。

2. 万一、本製品から移動体通信用の場内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3. その他、本製品から移動体通信用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店までお問い合わせください。

2.4 XX8

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。裏面方式としてその他の方式を採用し、与干渉距離は80 mです。

2.4 FH8

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。裏面方式としてFH-SS裏面方式を採用し、与干渉距離は80 mです。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

**付属の電源コードについて**  
付属の電源コードは、本製品専用です。他の電気機器では使用できません。

### 本機の使いかた

**本機の設置や接続、初期設定は、スマートフォンにインストールした「Sony | BRAVIA Connect」アプリの案内に従って行う必要があります。**  
**本機の使い方について詳しくは、表紙に記載のURLからヘルプガイド(Web取扱説明書)にアクセスしてご確認ください。**

### 壁掛け設置について

詳細やその他の設置方法については、表紙のURLからヘルプガイドをご覧ください。

壁に取り付けるネジ(市販)

壁との間隔：8.5 mm ～ 9.5 mm

壁に取り付けるネジの間隔：801 mm

ご注意

- スピーカーは補強された壁に水平に取り付けてください。
- 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。
- 壁の材質に、取り付けは必ず2人以上で行ってください。
- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。
- ネジは柱部分にしっかりと固定してください。

### ライセンスについて

- 本製品には、弊社がその著作権者としてのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容を一通読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧いただけます。
- 本製品に含まれるソフトウェアは、GPL/LGPL およびソースコードの提供を伴うその他のライセンス条件のもとでライセンスされたソフトウェアが含まれます。GPL/LGPL 等に基づき、ソニーがソースコードを提供するソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。DVD-ROM等の複製媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限らせて頂きます。
- https://oss.sony.net/Products/Linux/
- おおソースコードの提供についてのお問い合わせは御遠慮ください。
- Dolby, Dolby Atmos、and the double-D Symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 2012-2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.
- For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS, Inc. or DTS Licensing Limited. DTS, DTS-X, and the DTS-X logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- 第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

### 使用上のご注意

**電源コードについて**  
● 付属の電源コードは本機専用です。他の機器ではご使用にできません。  
● 長期間使用しない場合はコンセントから電源コードを抜いてください。電源コードをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。  
● 電源コードが傷んだ場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。

**取り扱いについて**  
● 視察員等は、直射日光の当たる場所、ほこりの多いところ、激しい振動のあるところには本機を置かないでください。故障の原因になる場合があります。  
● 平らな場所に設置してください。傾いた場所に設置すると、本機自体の振動により転倒・落下し、けがや故障・性能劣化の原因になることがあります。  
● 特殊な塗装、ワックス、油漏、溶剤などが塗られている床に本機を置くとき、床に変色、染みなどが残る場合があります。  
● 本機のスピーカーは、防湿型ではありません。本機の上や近くは磁気を利用したカード類は置かないでください。  
● 本機の周りにテレビ以外の金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。

**本機のお手入れのしかた**  
下記のお手入れをしていただくことにより、より長く快適にご使用いただけます。  
● 本機は、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

**BLUETOOTH®通信について**  
● 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。  
● BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。  
―― 病院内/電庫内の優先席付近/ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所/自動ドアや火災報知機の近く

**その他のご注意**  
● 本機の通風孔をふさぐと、内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。通風孔を絶対にふさがないでください。  
● 水がかからないようご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。  
● スピーカーユニットの開口部から異物を入れないでください。

### 商標について

- BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づき使用しています。
  - HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

### 仕様

バススピーカー (YY2088C1)

アンプ部

実用最大出力(非同時駆動、JEITA)

JEITA (電子情報技術産業協会) 規定による測定値です。

フロントレ/フロントスピーカーブロック：50 W (各チャンネル6 Q、1 kHz)

センタースピーカーブロック：50 W (6 Q、1 kHz)

トワール/トワールスピーカーブロック：50 W (各チャンネル6 Q、1 kHz)

BLUETOOTH®部

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯(2 400.0 GHz ～ 2 483.5 GHz)

USB部

④ (USB) 端子

Aタイプ(ソフトウェアアップデート専用)

HDMI®部

端子

19ピン標準コネクター (Type A)

一般

電源

AC 100 V、50 Hz/60 Hz

消費電力

On状態のとき：35 W

ネットワークスタンバイ状態のとき(Bluetoothスタンバイがオンのとき)：2.0 W以下

スタンバイ状態のとき(Bluetoothスタンバイがオフのとき)：0.5 W以下

〔自動電源オフ〕機能は有効なとき、何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、バススピーカーは自動的にネットワークスタンバイ状態またはスタンバイ状態になります。

〔自動電源オフ〕機能は有効なとき、本機の消費電力が増えます。

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)

突起部を除く

バススピーカー：約950 mm × 64 mm × 110 mm

バススピーカー (フット含む)：約950 mm × 77 mm × 110 mm

質量

バススピーカー：約31 kg

バススピーカー (フット含む)：約31 kg

### サブウーファー (YY2088C2)

**アンプ部**  
実用最大出力(非同時駆動、JEITA)  
JEITA (電子情報技術産業協会) 規定による測定値です。  
100 W (4 Q、100 Hz)

一般

電源

AC 100 V、50 Hz/60 Hz

消費電力

On状態のとき：20 W

ネットワークスタンバイ状態のとき(電源ランプが赤色に点灯しているとき)：2.0 W以下

電源オフ状態のとき(電源ランプが消灯しているとき)：0.3 W以下

LINK (リンク) 機能は有効なとき、何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、再びご使用になる際はLINK (リンク) を押してください。

〔自動電源オフ〕機能は有効なとき、何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、サブウーファーは自動的にネットワークスタンバイ状態になります。

〔自動電源オフ〕機能は有効なとき、本機の消費電力が増えます。

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)

突起部を除く

約210 mm × 388 mm × 388 mm

質量

約7.7 kg

### ワイヤレストランスミッター/レシーバー部

使用周波数帯域  
2.4 GHz 帯(2 400.0 GHz ～ 2 483.5 GHz)

#### 同梱品

- バススピーカー (1)
- サブウーファー (1)
- リモコン (1)
- 乾電池 (2)
- 壁掛けテンプレート (幅) (1)
- フット (2)
- ネジ (2)
- HDMIケーブル (1)
- 電源コード (2)
- 印刷物 (一式)

仕掛けおよび外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

### 保証書とアフターサービス

**保証書**  
● この製品には保証書が添付されています。  
● 所定事項の記入および記載内容を正確にのめうえ、大切に保存してください。  
● 保証期間内は、お買い上げ日より保固です。

**アフターサービス**  
**調子が悪いときはまずチェックを**  
● この説明書とヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。  
**それでも具合が悪いときは**  
● 製品内部を開けず、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。修理をご依頼の際は原因特定のため、ご使用用のケーブル類なども合わせてお持ちください。

**保証期間中の修理は**  
● 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。  
**保証期間経過後の修理は**  
● 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

**部品の保有期間について**  
● 当社では、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

**部品の交換について**  
● この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

### ソニーの相談窓口のご案内

本製品についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときの相談については、ホームページまたはソニーの相談窓口へお問い合わせの際は、次のことをお知らせください。  
―― 型名  
―― ご相談内容：できるだけ詳しく  
―― お買い上げ年月日  
ご質問の内容によっては、本機に接続される機器についてお問い合わせさせていただく場合があります。事前に関わる範囲でご確認いただき、お知らせください。

型名：HT-B600

お問い合わせ窓口

●各様お問い合わせ(LINEやメールなど)

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

https://www.sony.jp/support/inquiry.html

お問い合わせ先

【修理相談窓口】

フリーダイヤル：0120-333-020

携帯電話：一部のIP電話：050-3754-9597

【修理相談窓口】

フリーダイヤル：0120-222-330

携帯電話：一部のIP電話：050-3754-9599

ガイダンスに沿って短縮番号「3 0 6 」＋#を押すと、担当窓口へおつなぎします。

FAX: (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1